

# 授業科目 臨床血液学実習 II

【担当教員名】 大山 富三、長野 茂雄		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 血液検査の測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全かつ正しく採血を行う。</li> <li>2. 用手法から基本技術をマスターする。</li> <li>3. 結果を正しく評価する。</li> <li>4. 各種検査の理論及び臨床的意義を説明する。</li> <li>5. 検査の基準値を列挙する。</li> <li>6. 検査結果から疾患を類推する。</li> <li>7. 採血の実習を通して患者様の痛みを理解する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	血液凝固時間測定			1-7	講義・実習
3-6	カルシウム再加時間測定			1-7	講義・実習
7-8	APTT 測定			1-7	講義・実習
9-10	PT 測定			1-7	講義・実習
11-12	交差混合試験（クロスミキシングテスト）			1-7	講義・実習
13-14	ヘパラスチンテスト			1-7	講義・実習
15-16	フィブリノゲン測定			1-7	講義・実習
17-18	プラスミノゲン測定			1-7	講義・実習
19-20	FDP 測定			1-7	講義・実習
21-22	出血時間および毛細血管抵抗試験			1-7	講義・実習
23	血小板凝集能試験			1-7	講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学 第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2013・5,400円＋税
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 定期試験 70%程度 レポート 30%程度 ただし、定期試験の点数が6割未満の場合は再試験対象とする。			【履修上の留意点】 上記「授業計画」の項目が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。なお、レポートは全て提出することで評価対象となる。		